

ベネビア OD(農林水産省登録番号 第 24091 号)

デュポン ベネビア OD(農林水産省登録番号 第 23553 号)

令和 2 年 4 月 9 日現在

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバチ類 オオタバコガ	2000～ 4000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、 定植後の散布は 3 回以内)
	アザミウマ類 アブラムシ類	2000 倍					
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	2000～ 4000 倍					
	アブラムシ類 キスジノミハムシ	2000 倍					
だいこん	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ ダイコンサルハムシ	2000～ 4000 倍					
	アブラムシ類 ハモグリハエ類 キスジノミハムシ	2000 倍					
	ヨトウムシ	4000 倍					
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ	2000～ 4000 倍					
	アザミウマ類 アブラムシ類	2000 倍					
トマト ミニトマト	オオタバコガ	2000～ 4000 倍					
	ハモグリハエ類 コナジラミ類 アザミウマ類 アブラムシ類	2000 倍					
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハモグリハエ類 ウリノメイガ						

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントリプロールを含む農薬の総使用回数	
レタス 非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ ヨウムシ	2000～ 4000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、 定植後の散布は 3 回以内)	
	ハモグリハエ類 アブラムシ類	2000 倍						
ピーマン	オオタバコガ	2000～ 4000 倍						
	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類	2000 倍						
ししとう	オオタバコガ	2000～ 4000 倍						
	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類	2000 倍						
いちご	ハスモンヨトウ	2000～ 4000 倍						
		4000 倍						
アスパラガス	アザミウマ類	2000 倍						
オクラ	アブラムシ類	2000 倍						収穫開始 3 日前まで
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシクイガ	2000～ 4000 倍						収穫前日 まで
	アブラムシ類	2000 倍						
だいず	ハスモンヨトウ マメシクイガ	2000～ 4000 倍						収穫 7 日 前まで
	アブラムシ類	2000 倍						
さやいんげん かぼちゃ	ハスモンヨトウ	4000 倍	収穫前日 まで					
	ハモグリハエ類							
ねぎ	シロイチモシヨトウ アザミウマ類 ハモグリハエ類	2000 倍	収穫前日 まで					
たまねぎ	シロイチモシヨトウ ハスモンヨトウ アザミウマ類 ハモグリハエ類		収穫 14 日 前まで					
やまのいも	ナガバコガ ハスモンヨトウ アブラムシ類	4000 倍	収穫 7 日 前まで					

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカシロシタバ アリモドキゾウムシ ヨツモンカメノコハムシ	4000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ばれいしょ	ハスモンヨトウ	2000 倍		収穫前日 まで			
にんじん	アブラムシ類						
	ヨウムシ ハスモンヨトウ キアゲハ	4000 倍					
未成熟 とうもろこし	ムギクビレアブラ ムシ	2000 倍	100～ 180L/10a	収穫 10 日 前まで	2 回以内	2 回以内	
	アワノメイガ オオタバコガ	4000 倍					
たばこ	ヨウムシ						

[ベネビア OD 製品ページに戻る](#)

【成分】 シアントラニプロール（通称：サイアジピル®）…10.3%

【性状】 類白色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類

28

効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用はさけてください。
- やむを得ず、他の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- アスパラガスに使用する場合、銅剤との混用は薬害を生じるおそれがあるので、混用はしないでください。
- きゅうりに使用する場合、TPN を含む農薬との混用は薬害を生じるおそれがあるので、混用はしないでください。
- トマト及びミニトマトに使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、以下のことに注意してください。
 - ① アズキシストロビンを含む農薬との混用はしないでください。
 - ② アズキシストロビンを含む農薬を散布した場合には、散布後 2 週間以上間隔をあけて本剤を使用してください。
- はくさいに使用する場合、展着剤を加用すると薬害を生じる場合があるので、加用に当たっては事前にその適否を確認してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。

- つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響を与える恐れがあるので、散布の際はミツバチ及び巣箱にかからないようにしてください。また、散布直後から1日後まではミツバチを散布区域外に移動させるか、巣門を閉じてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。